

わたしの教材・教具



長野 須坂支援学校
下田有輝



ゆうたくんもできたっ!!



「もっとやりた〜い!」
雨の日の廊下練習には小学校の1年生も飛び入りで参加!



運動会当日もばっちり!

カラフルかけっこ〜小学校の子も支援学校の子も楽しいかけっこをめざして

須坂支援学校の子どもたちは、須坂小学校の子どもたちと一緒に運動会を行ないます。これまで支援学校の子どもたちが背伸びをして参加するというインテグレーション的な運動会、なかでも「かけっこ」は先生に手を引かれてゴールする子、おんぶされてゴールする子、お母さんのいる方へ走っていってしまう子…と、子どもたちに走る意味や走る楽しさをどう伝えるかが大きな課題でした。ゆうたくんは3年生。最近、プレイルームで遊ぶのが大好きで、プレイルームに行くためのまっすぐな廊下は、もううれしくて全速力で走り出してしまいます。ゆうたくんの走る姿を多くの人に見てもらいたい!

2022年の運動会は、「ともに運動会をつくり上げよう」と企画の段階から支援学校と小学校の先生が、両校の子どもたちが楽しくて満足できる運動会をめざして話し合いを行ないました。話してみると小学校1年生の子どもたちもいろいろな課題があることがわかりました。かけっこをもっと楽しいものに、意味あるものに、既成概念にとらわれず、よりよい競技にしようとして

もい話し合いができました。そしてできあがったのが「カラフルくん」と「ドーナツ型のバトン」。
「カカラフルくん」が初登場する日、残念ながら外は雨。急ぎよ、廊下に白いテープを貼って、「全天候型かけっこ場」の完成! カラフルくんが登場すると、子どもたちはすぐに意味を理解し、ドーナツを手に全速力で走り出します。片付けが得意なゆうたくんも自分で考え、カラフルくんの口にドーナツをぼん! 大成功でした! するとそこに小学校の1年生の子どもたちと先生が現れ、飛び入りで参加してくれました。これが、同じ校舎に同居することの良さ! 1年生が参加するとかけっこ練習はさらに大盛り上がり! 支援学校の子どもたちも今まで見たことのないような走りを披露してくれました。

運動会当日。大きな声援やたくさんの参観者には圧倒され、ゆうたくんは練習の時のようにはいきませんでした。そんななかでも、カラフルくんの口にドーナツをぼん! にこにこでした! 初めての運動会だった小学校の1年生も「またやりたい!」と口々に話してくれました。